

JFE商事グループの第7次中期経営計画(2021～2024年度)においては、DX推進に向けさまざまな取り組みをしてまいりました。

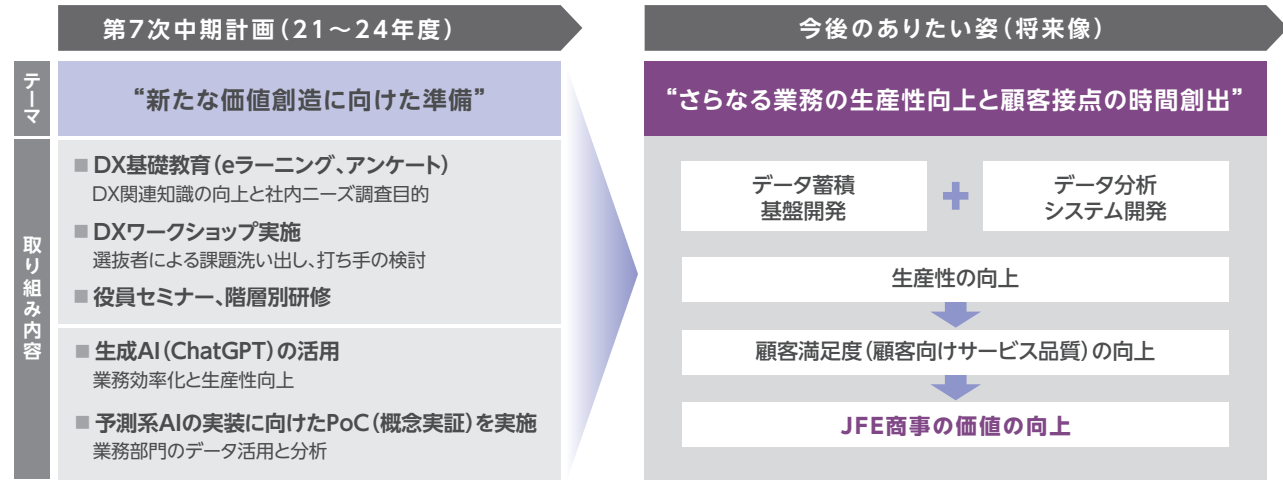
具体的には、経営層を含めた全社員へDXリテラシーを目的に「役員向けDXセミナー」「DXワークショップ」「階層別研修」等の取り組み等を行いました。また大規模言語モデルの進歩により生成AIが身近となり、JFE商事では2024年度より生成AI活用サービス(ChatGPT)を導入し、社内業務の効率化と社員が先端デジタル技術を活用する機会を増やしてまいりました。

今後はデータの蓄積・活用基盤を構築し、データを有効活用することにより、生産性と顧客満足度の向上を図りながら、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。



常務執行役員
(IT企画部担当) 安達 孝徳

DX 戦略 >>>



>>> 生成AI活用に向けた取り組み

JFE商事では23年度から社内向けChatGPTのトライアル利用を開始しました。当活動の終盤にはトライアルに参加した14の部門が参集し部門を横串にした事例報告会を実施し、トライアル参加者間にて有効事例の共有や使い方のコツについてのディスカッションを実施しました。

24年度には事例報告会から得られた内容を元にガイドラインを作成、全社へ発信し本格利用を開始しました。

事例共有会とガイドライン作成

事例共有会の様子

トライアルの参加者の代表者間で、有効事例を共有しました。



事例の分類(ガイドラインから一部抜粋)

事例共有会で得られた事例を5つに分類し、利用普及に取り組みました。

	使い方分類	代表事例
1	文章の素案作成・加工(添削、校正、言い回し、要約)	・海外ナショナルスタッフへのメール文作成 ・海外専門サイトの要約&メール作成 ・見積書比較
2	知りたい情報の概要把握	・会議時に挙げた専門用語の意味を調べるのみならず、その他関連情報も同時に収集
3	アイデア出し、相談、アドバイスをもらう	・GPTにてたたき台を作成し、プレストを実施 ・アンケート内容取りまとめを実施(分類、傾向等)
4	翻訳	・対訳表を活用した専門誌の翻訳
5	ITツールの操作やプログラミング	・複雑なExcel関数の調査

さらなる利活用に向けて、組織に応じた指示文(プロンプト)のテンプレート化(定型化)が有効と考え、各部にChatGPT活用の代表者(部代表者)を設置し、部代表者が中心となり各部にてテンプレート作成を開始しております。結果、社内全体に活用が広まっており、今後さらに、社内データを活用した利用推進や、業務効率化を継続してまいります。

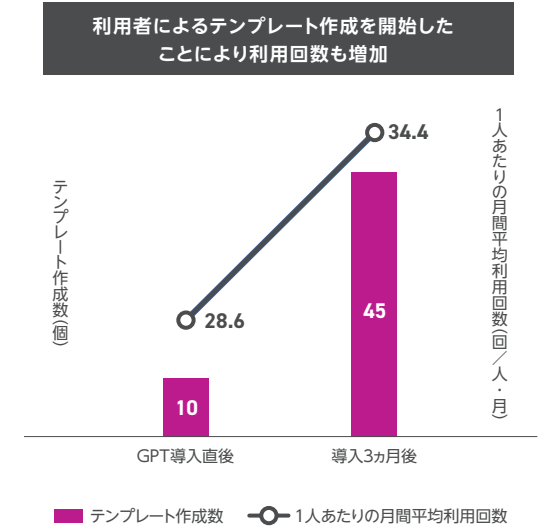
テンプレート活用 事例

利用シーン	取引先から得た生産情報のまとめと社内共有
# 役割 あなたは鉄鋼商社に勤める、営業パーソンです # 目的 営業活動につなげるため、仕入先、売先の情報をまとめ、社内へ共有したい # 指示 ・以下「#生産情報」の要約を行って下さい ・要約後、生産量の増減に着目し想定される考察を10個挙げてください # 形式 ・要約は生産の増減がわかるよう、表形式にまとめる ・ナショナルスタッフへ情報を共有するため、日本語版と英語版の要約を2つ出す # 生産情報 ----- (取引先から得た生産情報をここに張り付けて下さい) -----	

テンプレート機能利用におけるメリット

有効な使い方事例の提供 他者が作ったテンプレートを誰でも閲覧することが可能であり、利用時の参考になる	指示文作成スキルの均一化 優良な指示文をテンプレート化することで、誰でも質の高い回答が得られる	指示文作成の手間削減 ボタン押しで指示文の作成が可能であり、作成における負荷軽減につながる
--	---	---

活用状況 推移



>>> JFE商事エレクトロニクスのカメラ映像を用いた現場DX

JFE商事エレクトロニクスは、「安全」をキーワードに製造現場における危険エリアへの立入検知やロール全面の人検知、作業員の行動監視を補助するための『安全AIシステム』と『重機搭載型安全AIカメラ』の提供を開始しています。また、現場パトロール業務の削減や録画映像によるトラブル原因究明などの業務改善を可能にする高性能ネットワークカメラ(固定型、スマートフォン型)も提供しています。

安全AIシステムおよび重機搭載型安全AIカメラ



低帯域・低遅延・高画質ネットワークカメラ

